なつやすみの美術館5

これは
いったい、
何だろう？

つぶやき
おはなし
ものがたり

中西夏之《コンパクト・オブジェ（卵）》1962

2015年7月14日(火)－8月30日(日)

開館時間：9時30分–17時(入場は16時30分まで)
休館日：月曜日(ただし7月20日は開館し、7月21日が休館)
観覧料：一般510(410)**円、大学生300**(250)**円**
( ) 内は 20 名以上の団体料金　＊高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料、毎月第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料
7月22日（水）から8月28日（金）は「夏の節電アクションプラン」により、平日の入場料金が半額となります。一般250（200）円、大学生150（120）円　（ ）内は20名以上の団体料金

和歌山県立近代美術館

■JR和歌山駅から：バス（2番乗り場）で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
■南海電鉄和歌山市駅から：徒歩15分／バス（9番乗り場（15・73・273系統を除く）で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
■南海電鉄難波駅から和歌山市駅まで、特急で約1時間　■JR新大阪駅からJR和歌山駅まで、特急で約1時間

みんなの「つぶやき」から生まれる「ものがたり」

これはいったい、何だろう？

美術館で作品を見るとき、私たちは何かを感じたり考えたりしています。ふしぎだなと思ったり、これは何だろうと思ったり、好きだ、きらいだ、きれいだ、気持ちわるい、と感じたり。そういった心の中に生まれることばは、「つぶやき」とよべるでしょう。もちろん「よくわからない」という気持ちも、つぶやきの一つです。

一方で、私たちのつぶやきとは別に、作品を作った人のつぶやきもあるでしょう。こんな作品が作りたい、こんな材料を使おう、というように、作品が出来上がるまでには作る人のたくさんのつぶやきが重なってゆきます。後々それは作品についての「おはなし」となりますが、私たちはそれを知らなくても、作品を楽しむことはできます。

この展覧会では、作品の中のおはなしを自由に想像して、新しい「ものがたり」を作ってみたいと思います。きっかけになるのは、これまで和歌山県立近代美術館で開いた展覧会で、子どもたちのつぶやきをたくさん集めてきた中西夏之さんの《コンパクト・オブジェ》という作品です。たまごのようなかたちの中に、ふしぎな物のかけらがたくさん詰まったその作品には、いったいどんなおはなしがあったのでしょうか。新しいものがたりは作り出せるでしょうか。

そのための素材となる作品が、この夏の展示室にはたくさんそろっています。一つの作品から出発して、つぶやきを手がかりに、おはなしを想像して、見る人それぞれがものがたりをつむぐ、楽しい展覧会です。

協力：和歌山美術館教育研究会、和歌山県立近代美術館友の会

吉原英雄《雨の日》（版画集『公園』より）1974 / 石版、銅版、紙

折元立身《OUR DINNER - SHOES》1997 / 写真

川西 英《古道具屋》1941 / 木版、紙

ワークショップ「なつやすみものがたり・図書館と美術館から」

本展覧会に関連して、NPO和歌山芸術文化支援協会（wacss）との共催ワークショップを、和歌山県立図書館と美術館の2会場・別プログラムで開催します。
図書館ワークショップ7月26日（日）／ 美術館ワークショップ8月8日（土）
講師：新井厚子（美術家）

副館長のミュージアムトーク

7月25日（土）、8月2日（日）　いずれも14：00～（展示室にて、要観覧券）

こどもギャラリートーク（大人のみ、親子での参加も可）

道具を使ったり、手を動かしたりして、数点の作品をじっくりと楽しみます。
8月9日（日）、8月16日（日）、8月30日（日）　いずれも14：00～（展示室にて、要観覧券）

たまごせんせいと「わくわくアートツアー」

和歌山大学の学生が、鑑賞をサポートします。
8月11日（火）～8月15日（土）、8月19日（水）～21日（金）
いずれも11：00～、13：30～、15：00～（展示室にて、要観覧券）

【同時開催の展覧会】
6月10日（水）- 9月10日（木）
コレクション展2015―夏 ／ 特集展示　くりかえしの美

【県立博物館（おとなり）の展覧会】
7月18日（土）- 9月6日（日）
企画展　わかやま城探検